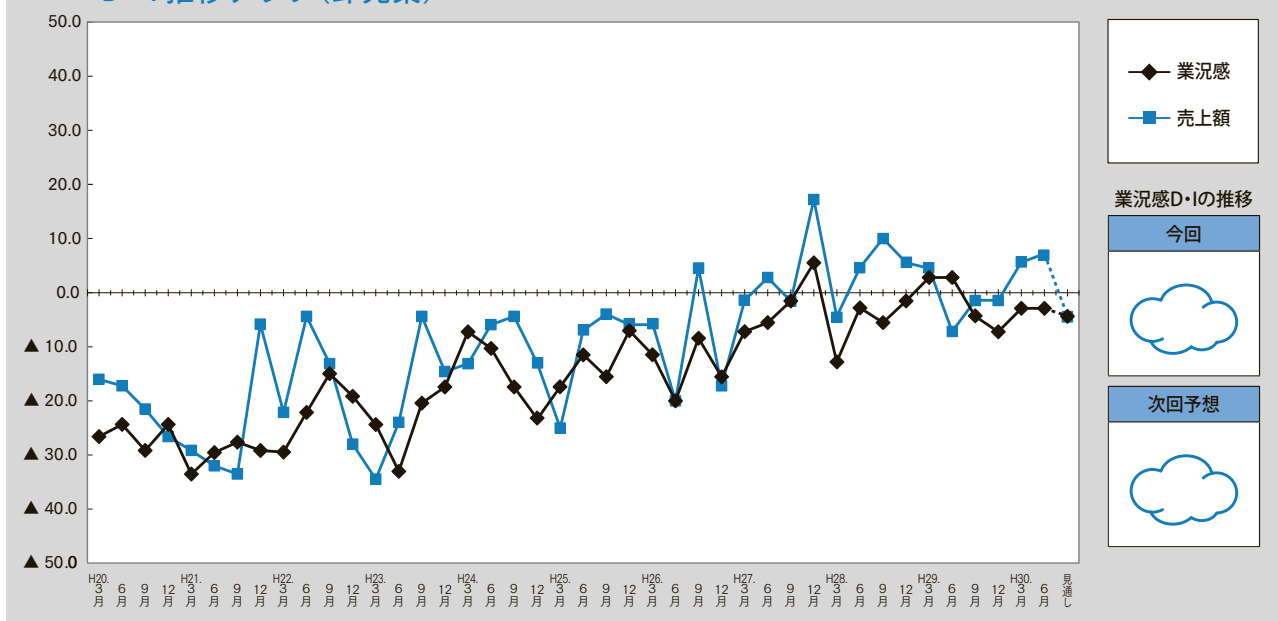


卸売業

Wholesale trade

業況感マイナス解消ならず

D・I 推移グラフ (卸売業)



1 今期 (平成30年4 - 6月期)

卸売業の業況感は、今期▲2.9(前期▲2.9)となり、横ばいであり4期連続マイナスとなった。

売上額D I値が1.4ポイント、収益D I値が8.6ポイント改善し、資金繰りはマイナスながらも前回より15.7ポイントも改善したが、販売価格の低下、仕入価格の上昇、在庫の過剰感が増したことから、業況感のマイナスが解消できなかったものと考えられる。

2 来期の予想 (平成30年7 - 9月期)

来期の業況感はD I値▲4.3と今期よりさらに1.4ポイント悪化する見通しとなっている。売上額、収益、販売価格も悪化の見通しであり、在庫は改善するも過剰感の解消には至らない予想である。資金繰りも再び悪化し、マイナスが続く見通し。人手の不足感はやや改善される見込みである。

DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H29.6月期	H29.9月期	H29.12月期	H30.3月期	H30.6月期	来期見込み
業況感	2.9	▲ 4.3	▲ 7.1	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 4.3
売上額	▲ 7.1	▲ 1.4	▲ 1.4	5.7	7.1	▲ 4.3
収益	▲ 5.7	▲ 10.0	▲ 1.4	0.0	8.6	▲ 4.3
販売価格	7.1	1.4	7.1	10.0	8.6	4.3
仕入価格	▲ 20.0	▲ 18.6	▲ 18.6	▲ 11.4	▲ 15.7	▲ 12.9
在庫	▲ 25.7	▲ 10.0	1.5	▲ 1.4	▲ 15.7	▲ 10.1
資金繰り	▲ 11.4	▲ 20.0	▲ 24.3	▲ 20.0	▲ 4.3	▲ 10.0
人手	17.1	5.8	11.4	14.3	14.3	10.0
設備状況	2.9	4.3	17.1	4.3	8.6	10.1

業況調査メモ

霧島の特産品などを大都市や海外に売り込む官民連携の一般社団法人「霧島商社」が、昨年12月に設立された。埋もれた地域資源の発掘から生産・加工・販売まで、一貫してプロデュースするのが目的。これまで首都圏の飲食店向けに、地元特産品のPRや商談を重ねてきた。今後は霧島ブランドの認定やご当地グルメの開発などに取り組む産学官の「霧島ガストロノミー推進協議会」や、地域おこし協力隊と連携して事業展開を図る。県内各地に官民一体の“地域商社”を設立し、さらに県全体をネットワーク化して合同で活動するシステムの構築も考えられる。